

項 目	内 容
名称	コリアンダー、コエンドロ、シャンツアイ (香菜)、中国パセリ、パクチー [英]Coriander [学名]Coriandrum sativum
概要	コリアンダーは、地中海沿岸原産の1年草または2年草で、草丈30～90 cmに成長する。まばらに分枝し、葉は羽状に裂け、セロリの葉に似ている。全草に特有の臭気がある。初夏に各枝の先に小さい白花をつけ、8～9月に直径3～5 mmの果実を付ける。生葉は香昧料として魚や肉料理に添えられる。果実はカレーその他の料理の調味料に用いられる他、胡荽子 (こずいし) または胡荽子実と呼ばれ、ヨーロッパでは消化不良、健胃、駆風薬として薬局方に掲載されている。 
法規・制度	■ 食薬区分 ・コズイシ (コエンドロ/コリアンダー) 果実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 ■ 食品添加物 ・既存添加物 香辛料抽出物 (スパイス抽出物/香辛料/スパイス)：苦昧料等 ・天然香料基原物質リスト コリアンダー (コエンドロ) が収載されている。

	■ 海外情報 ・ 米国では、GRASに該当する。	
成分の特性・品質		
主な成分・性質	・ 果実は精油を含み、その主成分は約70%のd-リナロールで、他にp-チモール、α-, β-シメン、リモネンなどである。脂肪酸も含み、その主成分はオレイン酸で、他にオクタデセン酸、リノール酸、パルミチン酸なども含む。また、フラボノイド配糖体、β-シトステロール、D-マンニトールなどを含む (29) 。	
分析法	-	
有効性		
ヒトでの評価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
- (101) WHO Drug Information. 2002;16(1):15.
[\(PMID:14982526\) Allergy. 2004 Mar;59\(3\):362-3.](#)
[\(PMID:12027075\) Ann Allergy Asthma Immunol. 2002 May;88\(5\):518-22.](#)
[\(PMID:11846752\) Contact Dermatitis. 2001 Dec;45\(6\):354-5.](#)
[\(PMID:8738518\) Allergy. 1996 Feb;51\(2\):117-20.](#)
- (2006077759) 皮膚臨床. 2005;47(12):1729-32.
- (2003233100) アレルギー. 2003;52(2-3):368.
[\(PMID:21420780\) Allergol Immunopathol \(Madr\). 2011 Nov;39\(6\):383-5.](#)
[\(PMID:23176891\) Ann Allergy Asthma Immunol. 2012 Dec;109\(6\):471-2.](#)
[\(PMID:24934554\) J Pharm Pharm Sci. 2014;17\(2\):254-65.](#)
- (2007119508) 日本皮膚科学会雑誌. 2006;116(13):2212-7.
- (2017028885) アレルギーの臨床. 2016; 36(11):1072-5.